

最高評価・ゴールド獲得4回目

継続的な性的少数者支援でPRIDE指標

性的少数者に関する優れた取り組みをした企業や団体を評価する「PRIDE指標2021」の結果が11月11日に発表され、筑波大が最高評価のゴールドを受賞した。2年連続4回目となる。ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター(DACC)の河野穂之助教(入間系)は「指標の評価基準は年々厳しくなっている。性的少数者への理解を深める講義や教職員向け研修会、展示会の企画など、継続的な取り組みが評価された」と語った。

性の多様性

SOGI/LGBT+

PRIDE指標は、性的少数者が働きやすい職場環境作りを評価するものだ。任意団体「work with pride」が



1月には性的少数者の肖像写真を展示するイベントが筑波大附属図書館で実施された。河野助教提供

(北川瑠菜)

PRIDE 指標

2016年に策定した。▽行動宣言▽当事者コミュニティ▽普及啓発▽人事制度・プログラム▽社会貢献・渉外活動の5項目を満たし、5点満点だった。

今年度は、昨年の1.3倍に上る300の企業や団体、大学などから応募があった。11日の結果発表では、237団体がゴールド、40団体がシルバー、21団体がブロンズを受賞した。応募企業のうち83%が大企業で、中小企業は17%。この比率は過去4年間ほぼ

変わらない。結果発表で司会を務めたNPO法人グッド・エイジング・エールズの松中権代表は「日本企業の大半は中小企業と言われる。多くの中小企業がこの指標を知ってもらい、全国に活動を広げたい」と話していた。

また今年度から新部門の「レインボー認定」が設立され、応募した41社のうち10社が認定を受けた。性的少数者に関する自社外への働きかけが評価された。アスリートと共に多様性に関する情報を発信した会計・コンサルティング会社のEY Japanや、全国の自治体と連携して取り組みを進めた三井住友信託銀行などが選ばれた。

レインボー認定の評価委員を務めた河野助教は「性的少数者を巡る文脈にあまり登場してこなかった組織をも巻き込んだ活動が印象的だった。社会により深い影響を与えられると期待している」と話した。

学内にゴールドポスト設置

東京五輪柔道金 永瀬選手を顕彰

東京五輪男子柔道81kg級で金メダルを獲得した永瀬貴規選手(旭化成・平成27年度体育専門学群卒)の栄光をたたえる「ゴールドポスト」が11月18日、筑波大学内郵便局前に設置された。筑波大を練習拠点とする本人が学内への設置を希望した。同日の除幕式で永瀬選手は「設置は光栄で、金メダルの実感が湧いてくる。これからもポストを見て刺激をもらい、柔道家として成長したい」と話した。



金メダルを胸に満面の笑みを見せる永瀬選手(11月18日、筑波大学内郵便局前で)

(大和祐菜 障害科学類3年、写真も)

3回目接種開始

つくば市は年内に4千人を予定

新型コロナウイルス

新型コロナウイルスワクチンの3回目の接種が12月1日、全国で始まった。つくば市では月内に医療従事者4000人が接種を受ける予定だ。

(車谷都美 社会学類2年)

今回の接種は原則、2回目のワクチン接種から8カ月以上経過した人が対象になる。先行して1、2回目の接種が進んだ医療従事者から始まり、順次、高齢者などに対象が拡大される。対象者は、自治体から接種券が届けられる。つくば市は1、2回目の接種と同様に、市内の医療従事者向けワクチン接種は、医療機関の申告数に従って市が配分する。医療従事者の多くは、勤務先の医療機関でワクチン接種を受けることになっている。筑波大医学類の4、5年生と看護学類の2、4年生は1、2回目の接種と同様に、市内の医療従事者向けワクチン接種を受けることになっている。

水素燃料電池バスでPCR検査

筑波大が実証実験 3月まで

筑波大は10月から、水素燃料電池バスを使った大規模PCR検査の実証実験を始めた。自然災害の被災地に駆けつけ、感染症対策を強化する体制の整備につなげる狙いがある。内閣府戦略的イノベーション創出プログラム(SIP)の一環で、実証実験は来年3月までを予定している。

(及川千翔 人文学類2年、写真も。12面に関連写真)

実験に使われているのは、機能や通信機能を備える。トヨタの水素燃料電池バス「SORA」を改良した車。PCR検査を迅速に行えるよう、核酸抽出機などの全自動機器を搭載している。バスは1日2000人以上の検査ができ、発電も適しているという。



採取した検体の受け付けの時間は39分23秒だった。採取した検体の受け付けの時間は39分23秒だった。

来年2〜3月には、1万人規模のイベント会場にバスを派遣して関係者の検査を行うなど、実際の使用を想定した実験を行う。研究責任者の鈴木広道教授(医学医療系)はこのシステムを使えば、避難所などでも高い精度の検査を迅速に行うことができる。実証実験で分かった課題を解決し、社会実装につなげていきたい」と話した。

DXの推進巡り

DXの推進巡り

第20回大学改革シンポジウム「DX新時代における大学の在り方について」(国立大学協会主催)が11月1日、オンライン開催された。授業のオンライン化やテレワークが進むなか、コロナ禍で社会のDX(デジタルトランスフォーメーション)が加速している。国立大学の教職員や学生ら約370人が参加し、大学はDXとどう向き合うべきかについて意見交換した。

(山田優芽 比較文化学類2年)

基調講演は、坂村健・東洋大情報連携学部長。2017年に新設された同学部のDX推進を旨とした取り組みを紹介した。



DX活用についてオンラインで議論した。国立大学協会提供

坂村学部長は、「デジタルを駆使して新しいことに取り組み、組織の在り方をも変える構造改革がDXだ。DX推進により、大学はより柔軟な組織に変わることができると語った。続くパネルディスカッションでは、関西学院大の長兼情報推進機構長など3人の大学教授が、先行してDXに取り組む大学との差が開く一方ではないか」などの声が上がった。これに対し、坂村学部長は「各大学が連携し、オンライン教育システムなどのプラットフォームを共同開発する必要があり」と語った。

広告掲載欄

(紙面のみでの掲載となります)

広告のお問い合わせは

電話 029 - 853 - 6699

Eメール shinbun@un.tsukuba.ac.jp

(筑波大学新聞へのご意見・お問い合わせも)

上記までお願いいたします)

担当者に聞く 筑波大SNS運用の工夫と今後



コロナ禍で存在感を増しているのが、時間や場所を問わず、幅広い対象者に情報伝達ができるSNS(ネット交流サービス)だ。筑波大でも昨年、公式ツイッターの運用が始まるなど、さまざまな部門で多様なSNSの活用が進む。情報を的確に届けるには、多様化するSNSの特性を生かした使い分けが必要とされる。筑波大のSNS運用担当者(取材)に、その工夫や効果、今後の課題を聞いた。(及川千翔II文学部、北川瑠菜II比較文化学類、東谷郁美II社会学類、大和祐菜II障書科学類、中山友萌香II生物学類)

英語でも世界に同時発信

広報室

筑波大の公式SNSが、広報室が運用するSNSの順となっている。ユーザー4480人のツイッター、インスタグラム、フェイスブック、ユーチューブ、リンクトインの五つある。大学の国際化に対応し、多くの投稿が日英二言語で行われている。フォロワーが最も多いのはフェイスブックの2万1024人(12月9日現在、以下同じ)、次いでリンクトイン1万8291人、インスタグラム1万5900人、ユーチューブ4480人の順となっている。SNSの内容は、大学の研究成果やイベント情報を中心に、広報戦略室長の山科直子教授は「筑波大のウェブサイトに日常的にアクセスしていない人にも情報を届けたい」と話す。ローワーは留学生が多いという。利用者が筑波大に在籍していた履歴をリンクトインにアップすると、自動的

生からの反響も大きい。広報室の運用担当者は「インスタグラムの利用者は若者が多く、フェイスブックは年齢層が高めなど、その特性が見えてきた」と話している。事業開発推進室は2019年10月、ツイッターアカウント「TSUKUBA_FUTURESHIP」を開設した。フォロワー数は現在3046人だが、筑波大卒業生をターゲットに、数を増やそうとしている。筑波大は23年10月1日、創設51周年開学50周年を迎える。同室はこれに合わせ10億円を目標に「筑波大学基金」への寄付を呼びかけている。基金は学生の支援や教育研

事業開発推進室

究活動の推進に使われる。卒業生へ情報を発信する手段が少なく、筑波大のことを少しでも思い出してもらえるように、ツイッターの利用を始めた。開学48周年を迎えた今年10月1日には、投稿のイラストなどを担当する根石真千佳さん(芸専1年)が数字の「48」の形をしたろうそくを石の広場で持つ写真を投稿した。今年3月には、「筑波大のあるある」を卒業生と在学生に投稿してもらおう企画も始めた。

ターゲットは卒業生

同室の担当者は「投稿を通して卒業生と在学生が交流する様子を見られてうれしい。卒業生や在学生が大学の思い出などをテーマにリレーメッセージをする企画を構想中で、関係者に面白いと思うもらえる投稿を続けていきたい」と話す。

指定国立大学法人の公式主要SNSフォロワー数(人)

	ツイッター	フェイスブック	インスタグラム	ユーチューブ
筑波大学	5,900	21,024	10,000	4,480
東京大学	62,126	36,909	412	18,700
東北大学	20,766	12,945	4,551	11,600
京都大学	40,248	27,666	12,000	4,500
東京工業大学	17,624	10,468	—	6,010
名古屋大学	12,883	11,340	—	1,340
大阪大学	33,588	17,861	21,000	8,460
一橋大学	9,148	8,967	—	4,300
東京医科歯科大学	1,454	3,315	1,276	749
九州大学	12,740	13,235	—	8,550

(数値は12月9日時点。インスタグラムとユーチューブについてはフォロワー数が1万人を超える場合、概数で表記。筑波大学新聞調べ)

近畿大学

近畿大は、ブランド化した「近大マクロ」など大学のイメージを生かしたユニークな投稿で、多くのフォロワーを獲得している。だが、同大広報室の担当者は「東京大などに比べブランド力がなく、フォローワー拡大には地道な努力が欠かせない」と話す。同大の公式SNSは、ツイッター(フォロワー数4万7187人)、フェイスブック(5546人)、インスタグラム(1.4万人)、LINE(6万9231人)、ヴェティック(931人)の5つあり、担当者は「その日その時の温度感を大切に、タイムリーでユーモアのある投稿を続け、近大に興味を持ってもらうきっかけにしたい」と話す。

他大学の運用状況は

チューブ(5.37万人)の計六つ。特に力を入れているツイッターでは「世間の話題を押さえるよう意識している」という。コロナ禍でマスクが品薄になった昨年5月には、マクロをモチーフにしたマスクカバリのペーパーラフトを作成。実際の画像を投稿したところ、5000件を超える「いいね」があった。

スポーツの魅力は動画で



44万回近く再生されているADのトレーニング動画

とのコミュニケーション手段の一つとして複数のSNSを活用している。登録者数が1.63万人と最も多いのがユーチューブチャンネルだ。昨年8月に公開された「日本一のコーチがおすすめ！瞬発力&ジャンプ力を高める！トレーニング10種」はこれまでに44万回近く視聴されている。

附属図書館

大の複数のチームをサポートする川谷響トリーナーが、瞬発力アップに効果的なトレーニングを実演した。ユーチューブチャンネルでは、硬式野球部や女子バレー部などADのモデルチームとして先進的な取り組みを行う運動部の活動なども紹介されている。ADのSNS担当でもある米原さんは「ターゲットを意識し、SNSの種類によって投稿する内容や雰囲気を変えている。動画は選手を身近に感じられ、興味を持って応援してもらえるきっかけになる」と語る。

アスレチック デパートメント(AD)

2018年に設立された筑波大アスレチックデパートメント(AD)も、ファアドミニストレーターと男子ハンドボール部など筑波

附属図書館は2009年にユーチューブチャンネルを開設する。開館当時の職員は「自己啓発の活用に取り組みが難しいものにも動画を活用した」と話す。現在は館内の案内やデータベースの使い方なども動画で配信している。また、11年には同館の公式アカウント(フォロワー数7568人)を開

2009年から活用

同館情報企画課の担当者「投稿の効果は把握するのは難しいが、今後も学生の興味を持ってもらえるような投稿を続けたい」と話している。

発信は届いているか

筑波大の関係者はSNSをさまざまな活用していることが分かったが、その意図が受け手に届いているかどうか。筑波大を志望する高校生や、在学生、卒業生に聞いた。

【男子高校生・つくば市在住】筑波大進学を考えており、公式インスタグラムを週に1〜2回チェックしている。学内の風景を映した画像からキャンパスの雰囲気を知り、志望する気持ちが高まっている。

【30代女性・新潟県在住】筑波大のインスタグラムで、嘉納治五郎氏の銅像の存在を知った。在学中には設置されていなかったため驚いた。コロナ禍でなかなか母校を訪れる機会がない



池田潤副学長

池田潤副学長に聞く
大学の広報は在学生や職員だけでなく、高校生や海外に住む学生や研究者、企業などさまざまな相手にメッセージを届けなければならぬ。SNSには長期的な戦略を立てることが難しい。だが、SNSには長期的な戦略を立てることが難しい。だが、SNSには長期的な戦略を立てることが難しい。だが、SNSには長期的な戦略を立てることが難しい。

【比4年・女性】普段ツイッターを主に利用する。筑波大に関するさまざまな情報や学生の活動をj知するため、附属図書館や事業開発推進室などをフォローしている。特にADの公式キャラクター「ゴズミン」のアカウントでは、部活動の成績、筑波大の選手活躍を知ることができる。気軽に情報を入手できるSNSは便利だ。

【聞き手・東谷郁美】大学の広報の在り方やSNSを使う意義について池田潤副学長(企画評価・広報担当)に聞いた。

「調べる必要がある。SNSで筑波大の今を知ることで、より詳しく知ることができるといい。インスタグラムで学内の紅葉を見て、当時の学生生活を思い出した。大学の広報の在り方やSNSを使う意義について池田潤副学長(企画評価・広報担当)に聞いた。

「調べる必要がある。SNSで筑波大の今を知ることで、より詳しく知ることができるといい。インスタグラムで学内の紅葉を見て、当時の学生生活を思い出した。大学の広報の在り方やSNSを使う意義について池田潤副学長(企画評価・広報担当)に聞いた。

「調べる必要がある。SNSで筑波大の今を知ることで、より詳しく知ることができるといい。インスタグラムで学内の紅葉を見て、当時の学生生活を思い出した。大学の広報の在り方やSNSを使う意義について池田潤副学長(企画評価・広報担当)に聞いた。

「調べる必要がある。SNSで筑波大の今を知ることで、より詳しく知ることができるといい。インスタグラムで学内の紅葉を見て、当時の学生生活を思い出した。大学の広報の在り方やSNSを使う意義について池田潤副学長(企画評価・広報担当)に聞いた。

「調べる必要がある。SNSで筑波大の今を知ることで、より詳しく知ることができるといい。インスタグラムで学内の紅葉を見て、当時の学生生活を思い出した。大学の広報の在り方やSNSを使う意義について池田潤副学長(企画評価・広報担当)に聞いた。

記者の声



北川瑠菜

丸善の閉店 本との思わぬ出会い まずは書店訪れてみて

「丸善」は東京都台東区にある小さな本屋だ。店主の落合博さんは元新聞記者58歳で退職し、2017年に店を構えた。

「女の子は本が大好きで、ついでに音楽の趣味があった。『HOSONO百景』とか夢に見た音の旅だった。きなのか」「民族とナショナルリズム」などジャンルや政治関係から絵本まで、落合さんが選んだ本がずらりと並び、「思いがけない出会いのある『出会い系の本屋』が理想だ」という。(本社・東京都港区)が運営する丸善の店頭受け取りからネット販売に切り替わったこともあり、私自身、書店に行くことがほとんどなかった。偉そうなことを言える立場ではない。全国大学生生活協同組合連合会が昨年実施した「大学生生活実態調査」で「1日の読書時間が0

分」と回答した学生が約5割いた。本よりもスマートフォンをいじっている時間の方が多いのだから。

筑波キャンパスには同社の書店が3店舗残る。学生の利用が増えなければ、経営は厳しいままだろう。更に閉店が増える可能性もあるのではないかと。

昨年4月以降、教科書販売が分と回答した学生が約5割いた。本よりもスマートフォンをいじっている時間の方が多いのだから。

筑波キャンパスには同社の書店が3店舗残る。学生の利用が増えなければ、経営は厳しいままだろう。更に閉店が増える可能性もあるのではないかと。

昨年4月以降、教科書販売が

筑波時評

コロナ禍の文献 オンラインの世界全てでない



松林麻実子 講師 (図書館情報学)

2020年4月以降、大学生・大学院生の生活は一変し、今もまだ元に戻っていない。言うまでもなく長引くコロナ禍の影響である。テレビや新聞で注目されたのは全面的なオンライン授業への移行が学生に与える影響だったように思うが、実は、コロナ禍は学生の学術情報(文献)へのアクセスにも大きな影響を与えている。

昨年度春学期、授業が全てオンライン型に変更された上に筑波大附属図書館が全面閉館した。蔵されている文献を指定し、読

丸善での店頭受け取りからネット販売に切り替わったこともあり、私自身、書店に行くことがほとんどなかった。偉そうなことを言える立場ではない。全国大学生生活協同組合連合会が昨年実施した「大学生生活実態調査」で「1日の読書時間が0分」と回答した学生が約5割いた。本よりもスマートフォンをいじっている時間の方が多いのだから。

筑波キャンパスには同社の書店が3店舗残る。学生の利用が増えなければ、経営は厳しいままだろう。更に閉店が増える可能性もあるのではないかと。

昨年4月以降、教科書販売が

反射鏡

オンライン双峰祭どうだった

コロナ禍で昨年は中止された筑波大学学園祭(雙峰祭)が、今年はオンラインで開催された。新たな試みを筑波大生はどのように受け止めたのか。中央図書館前などで聞いた。(細井真生 人文学類2年、大橋翔和 比較文化学類1年、山田優芽 社会学類2年、比嘉悠乃 日本語・日本文学類2年、浅野宏太 社会学類1年)

【資源4年・女性】

以前所属していたギターのバンドのメンバーと、たの時間を作って見た。チューン配信を見た。15分程度で面白かった。雙峰祭の事前収録した映像を配信した団体への表彰があったが、後輩が演奏する姿を見ることができてうれしかった。

【地球1年・女性】

所属しているダンスグループでは、8月に収録した動画を当日配信した。収録日から配信までに時間差があり、踊った直後に感想をもらえないことが多かった。対面開催の雙峰祭を知らず、オンライン開催が残念という気持ちはないが、観客の歓声など、配信発表ならではの盛り上がりを感じた。

【情報3年・男性】

関心のあった「筑大寄席」や「ヒートショー」は、芸術祭などを見た。オンラインでも作品が見にくくならないようサイトのデザインも工夫が施されていて、素晴らしいと思った。だが、対面開催に比べると、友人とのつながりや盛り上がりという点で物足りなかった。

【体育3年・女性】

芸術祭のウェブサイトの構成に入っていると聞いているので、のぞいてみた。展示作品のサイトマップは実在の教室がモチーフになっており、オンラインでも臨場感を味わえる工夫が感じられた。展示作品が端末に実物大で表示される原寸展は、対面開催の雰囲気を感じられ、面白かった。

【比文4年・男性】

マシクサークルに所属する友人の発表を見た。友人が送ってくれたURLからアーカイブ動画を視聴した。対面開催の時は数人で誘い合って友人の発表を見て回っていた。今回も一人で見たり、オンラインでも友人の活躍を見ることができて良かった。

【社会学3年・女性】

オンラインでの開催は、ツイッターを見て知っていたが、一人で画面を見ても盛り上がりを感じないと感じ、参加しよとは思わなかった。コロナ禍で友人に会う機会が少なく、一緒にオンラインで双峰祭を見ようという誘いをきかずに作れなかった。

【教育4年・男性】

ツイッターで流れている情報を制限し、特に興味をひかれるコンテンツは、参加しなかった。対面で開催されていた時は、自分の参加しなかった。対面開催だったとしても参加しよとは思わなかった。コロナ禍で友人に会う機会が少なく、一緒にオンラインで双峰祭を見ようという誘いをきかずに作れなかった。

【体育2年・男性】

修士論文が忙しい時期なので、周りでは誰も雙峰祭の話をしなかった。自分も参加しなかった。

【心理4年・男性】

開催されることを当日にツイッターで知ったため、参加できなかった。後日興味を持った企画をいくつか調べたが、アーカイブが残って見られなかった。雙峰祭で屋台を回るのが好きだった。来年は対面で開催してほしい。



イラスト＝大橋翔和(比較文化学類1年)

大学院生の力作展示 2年ぶり美術館に彩り MC展

余統里さん(同1年)の洋画「秘密の部屋」は、人形や玩具の散らかる部屋の隅を覗くような構図で、幾何学模様などが目立つ独特な世界観の作品だ。

「第37回MC展」が11月16〜21日、茨城県つくば美術館(つくば市吾妻)で開かれた。芸術学位プログラム博士前期課程の学生19人による洋画19点、版画3点、日本画14点が展示された。コロナ禍で昨年度はオンライン開催となり、美術館での開催は2年ぶり。延べ777人が訪れた。

入口正面に展示された太田琴乃さん(芸術P前期2年)の洋画「増殖するエネルギー」は縦261センチ、横

97センチのキャンバスに、木の幹をモチーフにした生命体が増殖する姿が描かれている。青とオレンジを基調とした生命体は、キャンバスから飛び出してきたように見える。太田さんは「記憶や感情などの目に見えないものを表現したかった。絵の具を塗り重ねて記憶が積み重なっていく様子を見せたい」と話した。



太田さんの作品(11月17日撮影)は、増殖するエネルギー(増殖するエネルギー)。大橋翔太(大橋翔太)の作品「あぶく」(あぶく)は、退屈な日常の中にある面白さがテーマで、安永ひよりさん(体育館ダンス場でも筑波大生40人が鑑賞した。)

コロナ禍超えた歓喜を表現

体育館ダンス場でも筑波大生40人が鑑賞した。新型コロナウイルスの影響で開催は2年ぶり。芸術イベントが軒並み中止される中でも、ダンスという芸術により、砂漠のオアシスのように心満たされる場所を届けた。タイトルには、そんな意味が込められた。

ダンスエクスペリエンス

創作ダンスからよきいまで、さまざまなダンス作品を披露する公演会「DANCE EXPERIENCE vol.15」が11月17日にYouTubeで配信された。主催する筑波大ダンス部など、4団体がかつて披露した約1200人が配信を視聴し、会場の筑波大中央

公演は2部構成。第2部二つ目の作品「あぶく」の音は、退屈な日常の中にある面白さがテーマで、安永ひよりさん(体育館ダンス場でも筑波大生40人が鑑賞した。)

図画団展2021 49作品が会場に



横澤さんの「買ったのに」(11月6日)は、刺繍を受けた参加者も絵を描いてほしいという思いで設置した。横澤さんは「コロナ禍で多くの祭りが中止になった。私も、祭りは着られないだろうと、浴衣を買った。準備は大変だったが、美術館での開催がなくなってしまった」と話した。

「図画団展2021」が11月6〜7日に5C棟で開催された。筑波大の美術サークル「図画団」のメンバー23人がデジタルイラストや水彩画、折り紙の立体作品など49作品を出展した。昨年度はコロナ禍のため年3回ある対面展示を中止し、ウェブサイトで展示した。学内展示は2年ぶりとなる。

個人が自由に制作した作品28点に加え、特定の色に限定して絵を描く「色しぼり」など四つの企画に基づく作品が展示された。入り口付近には、机の上の模造紙とペンを置いた落書きスペース(横約2メートル)が設けられ、団体と来場者のイラストなど

横澤さんは「コロナ禍で多くの祭りが中止になった。私も、祭りは着られないだろうと、浴衣を買った。準備は大変だったが、美術館での開催がなくなってしまった」と話した。

横澤さんは「コロナ禍で多くの祭りが中止になった。私も、祭りは着られないだろうと、浴衣を買った。準備は大変だったが、美術館での開催がなくなってしまった」と話した。

原皮から羊皮紙作り

原皮から羊皮紙作り。羊の原皮から羊皮紙を作るワークショップ「原皮から始める羊皮紙作り」が11月6日と同日20日に6A棟で開催された。筑波大の学生応援プログラム「TIA」

横澤さんは「コロナ禍で多くの祭りが中止になった。私も、祭りは着られないだろうと、浴衣を買った。準備は大変だったが、美術館での開催がなくなってしまった」と話した。

横澤さんは「コロナ禍で多くの祭りが中止になった。私も、祭りは着られないだろうと、浴衣を買った。準備は大変だったが、美術館での開催がなくなってしまった」と話した。

横澤さんは「コロナ禍で多くの祭りが中止になった。私も、祭りは着られないだろうと、浴衣を買った。準備は大変だったが、美術館での開催がなくなってしまった」と話した。

「あぶく」のように生まれては消える心情の変化などを、突発的な動きを多く取り入れることで表現した」と語る。最後を飾ったのは文部科学大臣賞を受賞した「歓喜を歌う騎士」(タフ・クリムト、Beeethoven「歓喜」の3面をモチーフに描いた壁画「ペーター・ベニング・リズ」をモチーフに制作した。)



公演の最後、踊るメンバーから、物語の主人公の清水朱夏さん(同3年)が披露する。

「歓喜を歌う騎士」(タフ・クリムト、Beeethoven「歓喜」の3面をモチーフに描いた壁画「ペーター・ベニング・リズ」をモチーフに制作した。)

「歓喜を歌う騎士」(タフ・クリムト、Beeethoven「歓喜」の3面をモチーフに描いた壁画「ペーター・ベニング・リズ」をモチーフに制作した。)

短歌 筑波大

落葉樹の葉が散りはじめた11月。寂しい景色の中に、白や濃いピンク色の華やかな山茶花が現れる。山茶花は椿とよく似ているが、花が終わる時に椿は首から落ちる一方、山茶花は花びらが散る。花びらが落ちていけば山茶花だと分かる。満開の山茶花の枝は葡萄の房のようにたわわに花をつける。一つ一つの花はみな好き勝手な方を向いていて、この無造作な感じが上品な椿にはない山茶花の魅力だと思ふ。(廣間菜月II比較文化学類3年 写真も)



11月17日、つくば市春日で。落葉樹の葉が散りはじめた11月。寂しい景色の中に、白や濃いピンク色の華やかな山茶花が現れる。山茶花は椿とよく似ているが、花が終わる時に椿は首から落ちる一方、山茶花は花びらが散る。花びらが落ちていけば山茶花だと分かる。満開の山茶花の枝は葡萄の房のようにたわわに花をつける。一つ一つの花はみな好き勝手な方を向いていて、この無造作な感じが上品な椿にはない山茶花の魅力だと思ふ。(廣間菜月II比較文化学類3年 写真も)

原点

GEN-TEN

現在、私は大学で神経科学の研究をしているが、学生時代からアカデミアの研究者を目指そうと思っていたわけではなく、どこにいてもいい、ごく普通の学生だっただけだ。修士課程修了後は製薬企業に就職し、自社製品を販売促進するための研究に携わっていた。だが、大きな論理パズルを解いているような愉悦感、データを出せた時の高揚感が忘れられず、迷った末、大学に戻る決断をした。

また昔と異なり、今ではアカデミア以外でも博士が活躍できる場が増えている。例えば、グローバル展開する製薬企業などで活躍したいなら、博士号は必須である。筑波大での経験が、将来、皆さんの「原点」になってもらえる。筑波大の一教員として、望外の喜びである。

鶴田文憲 助教 (神経科学)

生命環境系・助教。持田製薬研究員として勤務後、東京大学大学院工学系研究科博士課程修了。博士(工学)。スタンフォード大学博士研究員を経て、2009年より現職。

また昔と異なり、今ではアカデミア以外でも博士が活躍できる場が増えている。例えば、グローバル展開する製薬企業などで活躍したいなら、博士号は必須である。筑波大での経験が、将来、皆さんの「原点」になってもらえる。筑波大の一教員として、望外の喜びである。

4季ぶり大学選手権出場逃す

関東大学対抗戦

【江戸川区陸上競技場(東京都江戸川区)で車谷郁実II社会学類2年、写真も12面に掲載写真】関東大学対抗戦が9月12日から12月5日に行われた。筑波大はグループAで3勝4敗(勝ち点14)と8大学中6位に終わり、同グループの上位5校が進出する大学選手権への出場を4年ぶりに逃した。



ラグビー

対抗戦は総当たりで行われ、筑波大は初戦で帝京大と対戦。7-17で敗れるも、



試合終了間際にトライを決めた松島(11月27日、日本体育大戦で)

【サテーターフォー相模原球場(相模原市中央区)で天野隼太II比較文化学類2年】首都大学野球の秋季リーグ1部、2部入れ替え戦が11月13~15日に行われた。筑波大は1部リーグ残留をかけた、2部優勝の獨協大と対戦。初戦を1-2で落として後がない状況に追い込まれたが、2戦、3戦を連勝して1部残留を決めた。

野球

筑波大は2000年秋のリーグ戦から1部に在籍し

ついても、9回裏2死一塁の悪い流れを断ち切りたい



2死二塁で2点本塁打を放ち、勝利に貢献した清水=硬式野球部提供

【サテーターフォー相模原球場(相模原市中央区)で天野隼太II比較文化学類2年】首都大学野球の秋季リーグ1部、2部入れ替え戦が11月13~15日に行われた。筑波大は1部リーグ残留をかけた、2部優勝の獨協大と対戦。初戦を1-2で落として後がない状況に追い込まれたが、2戦、3戦を連勝して1部残留を決めた。

2戦目は投手陣が奮起し、吉本孝祐(同4年)など4投手の継投で獨協大打線を完封した。打っては、仲井淳人(同3年)が2点本塁打を放つなど3-0で勝利した。

【サテーターフォー相模原球場(相模原市中央区)で天野隼太II比較文化学類2年】首都大学野球の秋季リーグ1部、2部入れ替え戦が11月13~15日に行われた。筑波大は1部リーグ残留をかけた、2部優勝の獨協大と対戦。初戦を1-2で落として後がない状況に追い込まれたが、2戦、3戦を連勝して1部残留を決めた。

【サテーターフォー相模原球場(相模原市中央区)で天野隼太II比較文化学類2年】首都大学野球の秋季リーグ1部、2部入れ替え戦が11月13~15日に行われた。筑波大は1部リーグ残留をかけた、2部優勝の獨協大と対戦。初戦を1-2で落として後がない状況に追い込まれたが、2戦、3戦を連勝して1部残留を決めた。

【サテーターフォー相模原球場(相模原市中央区)で天野隼太II比較文化学類2年】首都大学野球の秋季リーグ1部、2部入れ替え戦が11月13~15日に行われた。筑波大は1部リーグ残留をかけた、2部優勝の獨協大と対戦。初戦を1-2で落として後がない状況に追い込まれたが、2戦、3戦を連勝して1部残留を決めた。

【サテーターフォー相模原球場(相模原市中央区)で天野隼太II比較文化学類2年】首都大学野球の秋季リーグ1部、2部入れ替え戦が11月13~15日に行われた。筑波大は1部リーグ残留をかけた、2部優勝の獨協大と対戦。初戦を1-2で落として後がない状況に追い込まれたが、2戦、3戦を連勝して1部残留を決めた。

【サテーターフォー相模原球場(相模原市中央区)で天野隼太II比較文化学類2年】首都大学野球の秋季リーグ1部、2部入れ替え戦が11月13~15日に行われた。筑波大は1部リーグ残留をかけた、2部優勝の獨協大と対戦。初戦を1-2で落として後がない状況に追い込まれたが、2戦、3戦を連勝して1部残留を決めた。

全日本大学女子駅伝20位

7年ぶりの出場

全日本大学女子駅伝対校選手権(杜の都駅伝)が10月31日に仙台市内のコース(6区間、38.1キロ)で行われた。7年ぶりの出場となった筑波大は2時間11分33秒で、オープン出場を含む26チーム中20位に終わった。名城大が2時間2分59秒で、史上2校目の5連覇を果たした。



陸上

【サテーターフォー相模原球場(相模原市中央区)で天野隼太II比較文化学類2年】首都大学野球の秋季リーグ1部、2部入れ替え戦が11月13~15日に行われた。筑波大は1部リーグ残留をかけた、2部優勝の獨協大と対戦。初戦を1-2で落として後がない状況に追い込まれたが、2戦、3戦を連勝して1部残留を決めた。

【サテーターフォー相模原球場(相模原市中央区)で天野隼太II比較文化学類2年】首都大学野球の秋季リーグ1部、2部入れ替え戦が11月13~15日に行われた。筑波大は1部リーグ残留をかけた、2部優勝の獨協大と対戦。初戦を1-2で落として後がない状況に追い込まれたが、2戦、3戦を連勝して1部残留を決めた。

【サテーターフォー相模原球場(相模原市中央区)で天野隼太II比較文化学類2年】首都大学野球の秋季リーグ1部、2部入れ替え戦が11月13~15日に行われた。筑波大は1部リーグ残留をかけた、2部優勝の獨協大と対戦。初戦を1-2で落として後がない状況に追い込まれたが、2戦、3戦を連勝して1部残留を決めた。

【サテーターフォー相模原球場(相模原市中央区)で天野隼太II比較文化学類2年】首都大学野球の秋季リーグ1部、2部入れ替え戦が11月13~15日に行われた。筑波大は1部リーグ残留をかけた、2部優勝の獨協大と対戦。初戦を1-2で落として後がない状況に追い込まれたが、2戦、3戦を連勝して1部残留を決めた。

【サテーターフォー相模原球場(相模原市中央区)で天野隼太II比較文化学類2年】首都大学野球の秋季リーグ1部、2部入れ替え戦が11月13~15日に行われた。筑波大は1部リーグ残留をかけた、2部優勝の獨協大と対戦。初戦を1-2で落として後がない状況に追い込まれたが、2戦、3戦を連勝して1部残留を決めた。

【サテーターフォー相模原球場(相模原市中央区)で天野隼太II比較文化学類2年】首都大学野球の秋季リーグ1部、2部入れ替え戦が11月13~15日に行われた。筑波大は1部リーグ残留をかけた、2部優勝の獨協大と対戦。初戦を1-2で落として後がない状況に追い込まれたが、2戦、3戦を連勝して1部残留を決めた。

【サテーターフォー相模原球場(相模原市中央区)で天野隼太II比較文化学類2年】首都大学野球の秋季リーグ1部、2部入れ替え戦が11月13~15日に行われた。筑波大は1部リーグ残留をかけた、2部優勝の獨協大と対戦。初戦を1-2で落として後がない状況に追い込まれたが、2戦、3戦を連勝して1部残留を決めた。

弓道

全日本学生王座決定戦

男子準決勝敗退

全日本学生王座決定戦が11月20、21日に伊勢神宮(三重県伊勢市)で開かれた。3年ぶりに出場した筑波大男子は、優勝した慶應義塾を目標にしていた。大会を終え、小坂は「1年間、王座決定戦での優勝を目標にしていた。4年生を優勝させてあげられず悔しい。慶應義塾大戦は力を出した切ったものの、及ばなかった」と振り返った。

【サテーターフォー相模原球場(相模原市中央区)で天野隼太II比較文化学類2年】首都大学野球の秋季リーグ1部、2部入れ替え戦が11月13~15日に行われた。筑波大は1部リーグ残留をかけた、2部優勝の獨協大と対戦。初戦を1-2で落として後がない状況に追い込まれたが、2戦、3戦を連勝して1部残留を決めた。

最終戦 駒澤大に0-1で敗れる リーグ戦6位で終了



新人賞を受賞した竹内(左) = 筑波大学蹴球部提供

【中台運動公園陸上競技場 千葉県成田市】で細井真生(人文専攻2年)が4月3日から開催されていた関東大学リーグ戦が11月13日に閉幕した。筑波大は最終戦で駒澤大と対戦し、0-1で惜敗した。リーグ戦の成績は9勝2分11敗で、1部リーグの12大学中6位。優勝は、最終戦で明治大に勝利した流通経済大だった。ベストイレブンにミッドフィールダーの山原音吉(体専4年)とフォワードの森海渡(同3年)が、新人賞に竹内崇人(同1年)がそれぞれ選出された。

サッカー
駒澤大は対戦前の時点でリーグ3位につけていた。流通経済大と明治大が引き分け、駒澤大が勝利すれば逆転優勝の可能性も残された中で一戦だった。試合開始22分、森が2人

男子団体準優勝 東海大にまたも及ばず

体重無差別の団体戦で大学日本一を争う全日本学生優勝大会が11月13、14日に千葉ポートアリーナ(千葉市中央区)で行われ、筑波大は男子が準優勝した。女子は5人制の部に出場し、ベスト8に入った。田中航太(体専1年)と戸高淳之介(同1年)が優秀選手に選ばれた。

柔道
調に準決勝へ駒を進めた。国士館大との準決勝では、1年生の先鋒・田中と次鋒・戸高が連勝し勢いを付けた。大将戦では宗田を許したものの、1年生トを許したものの、1年生2人がそれぞれ試合時間を1分以上残す快勝で、チームも3-1で勝利した。



鹿屋体育大戦の戸高(11月14日、千葉ポートアリーナで) = 北川瑠菜撮影

次鋒千野根有我(同3年)も試合開始3分に大外刈で一本負けした。続く五将・阿部拓馬(同4年)は引き分けだが、中堅・戸高が大本で敗れ、筑波大の準優勝が決定した。その後の副将・長谷川巧(同2年)は裏投げ一本負け、大将・関根聖隆(同4年)は引き分けとなり、0-5と勝ち星をあげることができないまま完敗した。

岡田弘隆監督(体育系・准教授)は「体重無差別の大会で重量級選手を多くそろえる大学に勝つのは難しい。これまで本大会を経験したことのない1、2年生が活躍し、決勝まで進めたことが良かった。柔道は大きな選手をそろえれば勝てるわけではないことを示すためにも、来年こそは重量級の層が厚い東海大に勝ちたい」と話した。

をかわしながら攻め込み、相手のファウルでフリーキックを獲得。遠藤海斗(同2年)がゴール前に蹴ったボールは、相手ディフェンスにヘディングでカットされ、得点はならなかった。40分には、相手のミッドルシュートがゴールに入る

もオフサイドの判定に救われ、前半は0-0で終了した。後半は開始直後にコーナーキックの機会を2度得たが、どちらも得点にはつながらなかった。83分には右サイドからのクロスを押し込まれて失点し、0-1

で試合を終えた。12月8日開幕の全日本大学選手権(インカレ)には関東大学リーグから、総理大臣杯で優勝した法政大と、その他のリーグ戦上位6校が出場。筑波大は10月30日の第22節でインカレへ出場を決めていた。

森は駒澤大戦について「押し込まれるのは分かっていたので、少ないチャンスを確実に得点につなげるという気持ちで臨んだ。だが、相手の隙を突くことができなかった。チームが苦しい時に点を奪えるよう、フォワードとして結果にこだわりたい」と話した。

小井土正亮監督(体育系・助教)は、「リーグ上位の駒澤大との対戦は実力を測る絶好の機会でもあった。選手は頑張ってくれたが、力負けをしてしまった」と振り返り、「リーグ戦で活躍した竹内を筆頭に今後が楽しみな1、2年生が多い。彼らにはもっと伸び伸びと積極的にプレーをしてほしい」と話した。

コロナ禍のため今年3月開催となった前回大会に続き、面の下にマスクとマウスシールドを装着するなど、感染対策が取られた。

星子は、堅実な試合運びで、決勝までの5試合を順調に勝ち上がった。

決勝では、林田匡平(福岡・平成27年度体育専門学群卒)と対戦した。試合開始から約1分半、星子が相打ちのメンを林田より先に決め、一本先取した。星子は、取り返そうと攻め込んでくる林田を上手くかわして、林田が一本

下があったところに星子がメンに飛び込み、二本勝ちを収めた。

星子は警察官を志していたが、昨年は採用試験に合格できず、就職浪人の道を

選んだ。今年3月の大学卒業後もつばに残り、筑波大の稽古に参加してきた。地域の子供に剣道を教えるアルバイトも始めた。

全国高校総合体育大会や全日本学生選手権での優勝などが、高校・大学で全国優勝を経験した「剣道エリート」の道を歩んできた星子にとって苦難の1年となったが、全日本選手権優勝という長年の目標を果たすことができた。



二本目のメンを決める星子 = LET'S KENDO 提供

香田都秀部長(体育系・教授)は、「星子はこの1年間、稽古のほかに、走り込みや筋力などのトレーニングに励むなど、自分を追い込んで努力を重ねてきた。それが安定した試合運びにつながり、優勝できたと思う」と話した。

星子は「優勝してほっとした。支えてくれた両親や先生方に少しでも恩返しが出来た。全日本選手権3連覇を目指し、挑戦していきたい」と抱負を語った。

スポーツ顔

ストレッチスジャパン(ベルドーム)で群馬県吉岡町へ練習に通うようになった。

練習が「楽しい」と思えたのは小学5年の時。ポールを基礎練習用の竹製からグラスファイバー製に変えたところ、反発

時には全日本中学校選手権を連覇。3年生の2月に5月05の中学記録を樹立し、中学生初の5月ジャンパーになった。

前橋育英高校に進学後の2018年10月には、1年生ながら、ユース五輪出場を果たした。

バルと戦っていきけるか不安も感じたが、「助走スピードを生かして高い反発を得る」自分の強みにこだわって、ユース五輪では5月22と自己記録を更新。銀メダルに輝いた。「身長が低くても跳べることを証明でき、競技人生で一番うれしい瞬間だった」と振り返る。

だが、「記録向上には、もっと長いポールで跳べるようになる必要がある」と考えるようになった。高校2年の5月、5月30と自己記録を伸ばした際に、これ以上の跳躍はポールを長くしないと難しいと感じたから

日本記録でパリ五輪目指す

で宙に浮かぶ感覚をつかんだ。1日に40本も跳躍練習をすることもあった。

同県高崎市の新町中学校に進学後もベルドームで練習を続け、2、3年

それまでは15フィートのポールを使っていたが、16フィート前後の長いポールを使いこなせるよう、筋力や助走の走力

高跳を「楽しむ」気持ちには変わらない。「日本記録(5月83)を更新し、パリ五輪に出場する」という思いを胸に、世界へ羽ばたいていく。(大和祐菜11障害科学類3年 写真は陸上競技部提供)

古澤 一生 (体専1年)

跳べるようにならなければと考えるようになった。高校2年の5月、5月30と自己記録を伸ばした際に、これ以上の跳躍はポールを長くしないと難しいと感じたから

小学生的の時も、今も棒

筑波大に今年、進学したのは「動きを科学的に分析して記録向上につながる環境がある」から。8月には5月52の自己ベストを更新し、9月の日本学生対校選手権(日本インカレ)では5月40で初優勝した。「4連覇を目指す」と意気込む。



中学・高校記録保持者で日本インカレ王者

雙峰祭 工夫凝らした企画

仮想世界や動画を展開

【一面参照】新型コロナウイルス感染症対策のため、史上初のオンライン開催となった第47回筑波大学園祭(雙峰祭)。これまで対面で開催されてきた企画に代わり、オンラインならではの企画が多々みられた。前例のない中、試行錯誤しながらコンテンツを制作した企画を追った。(中山友明香 生物学類2年、及川千翔)

ゲーム内で雙峰祭再現

オンライン雙峰祭の来場者の投票で決まる「雙峰祭グランプリ」の一般企画部門で特別賞を受賞したのが「マイクラ雙峰祭プロジェクト2021」だ。ブロックを自由に配置して仮想世界を構築できるビジュアルゲーム「Minecraft」(マイクラ)で、雙峰祭開催中の筑波キャンパスを描いた。特設ページが設けられた石の広場や出店が並ぶ第一、第三エ



動画の最後に映る木のセット=芸術祭実行委員会提供

は、春日エリアを含む筑波キャンパス全体の完成を目指す。【コロナ下の思い動画に】雙峰祭で芸術専門学群の学生らの作品展示や販売を行う筑波大学芸術祭の実行委員会は、約半分のプロモーションビデオ(PV)「そして、色になる」をYouTubeとツイッターで公開した。12月8日時点で計726回再生されている。PVはモノクロで始まる。女子学生が6A棟の教室に入る。真っ白なキャンパスが天井から降り注いでいる。女子学生が教室に置かれたペンキの缶にはけを入れ、キャンパスに塗った瞬間、画面は「光の三原色」の赤、青、緑に色づく。この三色は芸術祭のテーマカラーでもある。続いて教室全体が映し出され、キャンパスを葉に見立てた木のセットと「そして、色になる」の言葉とともにPVは終わる。制作は、同学群の2年生4人が中心になって進めた。例年は、芸術祭1年生が運営するカフェへの参加を通して親睦を深めるが、昨年は中止に。同期と交流するために、有志でPV制作することにした。

セットの設計や組み立て、音楽の作曲・作曲、動画の撮影・編集など全て2年生が担当した。7月に構想を練り始め、完成するまで約3カ月かかった。動画制作のディレクターを務めた熊澤佑樹さん(芸専2年)によれば、コロナ禍で活動制限された大学生生活をモノクロで、やりたいことを始め、自分自身の色を獲得しようとしている今をカラーで表現した。「多くの人が反響があった。PVを見た人たちが共感し、新たな一歩を踏み出すきっかけになればうれしい」と熊澤さんは話している。



体育・芸術エリアにある6A棟は、2階でペデと接続する(11月5日、体育・芸術エリアで)



ペDESTリアンデッキ「ペDESTリアンデッキ」(名)筑波大学やつくば市中心部を縦断する歩行者・自転車専用道路のこと。北端は筑波大学一の矢学生宿舎で、南端は赤塚公園である。ペデ。ペDESTリアンデッキ「ペDESTリアンデッキ」(名)筑波大学やつくば市中心部を縦断する歩行者・自転車専用道路のこと。北端は筑波大学一の矢学生宿舎で、南端は赤塚公園である。ペデ。ペDESTリアンデッキ「ペDESTリアンデッキ」(名)筑波大学やつくば市中心部を縦断する歩行者・自転車専用道路のこと。北端は筑波大学一の矢学生宿舎で、南端は赤塚公園である。ペデ。

解説

第一エリアと体育・芸術エリアは2階、第二エリアは3階、第三エリアは1階……。これは、各エリアの建物とペDESTリアンデッキが接続する階数を指している。外との入り口は1階にあるという先入観は、多くの人に受け入れられ、慣れないと位置の把握が難しく、新入生は自分が何階に居るか分からなくなることも多い。同様の例はつくば駅前でも見られた。百貨店の西武筑波店(つくば市吾妻2017年閉店)の最も大きなエントランスは、ペデと接続する2階にあった。総合案内所も、通常1階にあることが多い化粧品売り場も2階だった。一方、一般に「地下」と呼ばれる食料品売り場は、地下ではなく1階にあってため戸惑った人もいたろう。

多くの所作がある。お辞儀の角度や茶道道具を動かす順番や位置などが細かく決められており、覚えやすい。このため、所作を簡略化して覚えていく。お辞儀の角度や茶道道具を動かす順番や位置などが細かく決められており、覚えやすい。このため、所作を簡略化して覚えていく。お辞儀の角度や茶道道具を動かす順番や位置などが細かく決められており、覚えやすい。このため、所作を簡略化して覚えていく。

秋季スポーツ・デー

2年ぶりの対面開催 1600人参加

第45回秋季スポーツ・デーが11月20、21日に陸上競技場などで行われ、延べ約1600人の学生や教職員が参加した。毎年春と秋の2回開かれるスポーツ・デーはコロナ禍のため昨春から3季連続で中止されており、開催は2019年秋以来2年ぶり。例年は約5000人が参加するが、感染対策のため、会場を無観客にするなど規模を縮小して実施された。(及川千翔、写真も)



サッカーを楽しむ学生たち(11月20日、第一サッカー場で)

サッカーやテニス、eスポーツなど計7競技はトーナメントで順位を競った。eスポーツは初採用で、「ニンテンドースイッチ」のゲームソフト「大乱闘スマッシュブラザーズSPECIAL」を使い、3人1組の団体戦が行われた。スポーツ・デーを運営する学生委員会の企画では、敵陣の旗を奪ったり、ボールを投げて敵を倒したりする「サバイバルゲーム」など計4競技が実施された。学生委員会企画は例年、当日に参加者を募っていたが、今回は参加者数を把握

「おわびと訂正」 366号11面「うつ病疑いの学生増加」の記事で、「国立大学保健管理施設協議会・メンタルヘルス委員会」としましたが、正しくは「国立大学保健管理施設協議会・メンタルヘルス委員会」の誤りでした。おわびして訂正します。

文化系サークル館にある和室が活動の舞台だ。稽古は週に2回。水曜日は自主稽古、金曜日は茶道裏千家の先生に稽古をつけてもらう。稽古を始める前に欠かさないのが、裏千家の茶道の精神を表した「おことば」の唱和だ。10人の部員が正座して唱える。「わたしたちは、茶道の真の姿を学ぶ(中略)お互い人々によっていかされていくことを知る」

力があった。多くの人と一緒に盛り上がることでできた。また、試合間隔を例年の5分から15分に、チームの人数を制限するなど人が集中しないよう工夫した。eスポーツに出場した佐川漱さん(教育2年)は試合の様子を会場のスクリーンに大きく映し出され、迫り感を感じた。当日参加を認めた。開催にあたっては健康観察記録表の確認や会場の検温▽手指消毒▽会場への出入りを選択と審判に限定した。また、試合間隔を例年の5分から15分に、チームの人数を制限するなど人が集中しないよう工夫した。

筑波大茶道部「和敬清寂社」

「他人を侮ることなく、いつも思いやりが先に立つように」。歌声や三味線に響く音。周囲は他のサークルの活動で生じるさまざまな音



一つ一つの所作に気持ちがこもる(11月17日、文化系サークル会館で)

も茶道の心得を示す言葉で、茶席でお互いが敬い合い、道具や雰囲気も清潔に保つ意味がある。茶道は茶をたてて客をもてなし、片付けまで、化しした益略忌前や基本的な所作で茶道を進める平点前から稽古を始めて所作を身に付けていく。大学で茶道を始めた部長の田村瑞希さん(社会学類2年、写真も)

「おことば」は「基本的所作を覚えるまでに半年かかった。最初は覚えることで頭がいっぱいだったが、美しく見せることやおもてなしの心を意識できるようになった」と話す。美術系のサークルにも加入し、自由に作品を制作している石坂通航さん(3類1年)は「型にはまった、自由度の高さが茶道の面白さだ。お茶を入れるだけなら、お湯を沸かしていただくだけでいい。だが、あえてさまざまな所作をし、遠回りを逆行しているように魅力を感じると語る。一方で西澤愛佳さん(比文2年)は「無駄と考える所作にも実は合理的な意味がある」と話す。例えば、釜のお湯を水で濡れたひしゃくですく、その湯を釜に戻す「湯

四季の移ろい感じながら

も見られた。百貨店の西武筑波店(つくば市吾妻2017年閉店)の最も大きなエントランスは、ペデと接続する2階にあった。総合案内所も、通常1階にあることが多い化粧品売り場も2階だった。一方、一般に「地下」と呼ばれる食料品売り場は、地下ではなく1階にあってため戸惑った人もいたろう。外との入り口は1階にあるという先入観は、多くの人に受け入れられ、慣れないと位置の把握が難しく、新入生は自分が何階に居るか分からなくなることも多い。同様の例はつくば駅前でも見られた。百貨店の西武筑波店(つくば市吾妻2017年閉店)の最も大きなエントランスは、ペデと接続する2階にあった。総合案内所も、通常1階にあることが多い化粧品売り場も2階だった。一方、一般に「地下」と呼ばれる食料品売り場は、地下ではなく1階にあってため戸惑った人もいたろう。

Who's Who?

「Panda株式会社」代表取締役

田貝 奈央 さん (知識3年)



パソコンを片手に笑顔を向ける田貝さん＝本人提供

香川高専託園キャンパス(香川県三豊市)の情報工学科4年生だった2019年12月、人工知能(AI)を活用したシステム開発を行う「Panda株式会社」(同市)を起業した。今年4月には、筑波大知識情報・図書館学類に編入学し、学生とスタートアップ企業代表取締役の二足のわらじをはく。

「技術は人を幸せにすると信じている。それを実証していきたい」。熱い思いが原動力だ。現在は拡張現実(AR)グラス(眼鏡)の開発に取り組んでいる。ARグラスを目の前の人間に向けて、その人のプロフィールが表示される。例えば、店にお客さんが来た時に、馴染みの店員でなくとも接客がしやすいようになるメリットがある。人の名前と顔を一致させることが苦手だった自身の経験が開発のきっかけになった。既に試作品が完成し、市場に出すための実証実験を近く行う。

社名のPandaは動物のパンダのこと。若者男女たれから愛されるパンダのような存在になりたいという思いと、自分の性格にちなんで命名した。動物園のパンダは、木に登ると降りてこれなくなるというイメージ。やろうと思えば立ち上る、行動に移す自分に重なる、と笑う。全国の高専生が実力を競う大会に、全国高等専門学校ロボコンテスト(ロボコン)と同プログラミングコンテスト(プログラミングコンテスト)で賞状がある。元々はロボコンに興味があり、中学3年時に、実家(徳島県坂野町)からロボコン強豪校の香川高専託園キャンパスの文化祭を訪れた。だがそこで魅了されたのは、プロコンに応募された作品だった。風の動きをセンサーで捉えて瞬時に画像化するもので、プログラミングの素晴らしさを実感し、情報工学科に進んだ。高専では憧れていたプロコンに熱中した。チームリーダーと

「テクノロジーで人を笑顔に」

ARグラスのアプリ開発

なった3年生の時には、プレイヤー同士が手をつなぎ、その動きをカメラに認識させて操作するゲームのシステムを考案。最優秀賞に輝いた。金魚すくいや川下りなど8種類のゲームが楽しめる。手をつなぐアイデアと、プログラミング技術や充実したゲーム内容が評価された。「夏休みの時間を全てプロコンに注げた。高専に入って良かったことの一つと振り返る。19年4月には、プロコンチームのメンバーとして、三豊市などが設立した一般社団法人みよAI社会推進機構(MAIZM)のオープニングセレモニーに招かれ、AI研究の第一人者である松尾豊・東京大大学院教授と出会った。その後、松尾研究室や東大生が起業したベンチャー企業を見学し、「自分の開発した製品を社会に届きたい」と考えるようになった。松尾教授やMAIZMの後押しもあり、起業に踏み切った。

資本金百万円も松尾研究室から支援を受けた。登記に必要な会社所在地の提供やAIを利用したいと考えている企業との仲介などもMAIZMが協力してくれた。起業当初は一人で活動していたが、今は高専の後輩など5人で活動中だ。住所も生活リズムもバラバラだが、それぞれが自分の得意分野を生かし、オンラインで業務を進めている。筑波大では、顧客情報を基にしてお薦め商品を表示するなど、ARグラスに付加価値を与える仕組みを学ぶつもりだ。高専より1日の授業時間が長く、課題も多いため、スケジュール管理が大変だという。「悩むことはあるが、やってみて初めて分かることも多い。仲間が増えることも嬉しい。ぜひチャレンジしてほしい」と筑波大生に起業を呼びかけた。(太田碧 第2類1年生)

水素燃料電池バスでPCR検査



検体の受け付けから40分で検査結果が判明する(11月18日、水素燃料電池バス車内で)＝及川千翔撮影

2面へ

原皮から始める羊皮紙作り



羊の皮を木枠に張る手順を説明する(11月20日、6A棟で)＝太田碧撮影

5面へ

関東大学対抗戦



最後まで体をぶつけて戦い抜いた選手ら(11月27日、日本体育大戦で)＝車谷郁実撮影

8面へ

2年ぶりの秋季スポーツ・デー



キックベースをする女子学生(11月20日、野球場で)＝及川千翔撮影

11面へ

学内総合

学芸

スポーツ

学生生活

編集後記

本紙編集室には、創刊号から紙面を記録した縮刷版があります。編集作業の息抜きにパラパラとめくって見ると「すかしゅギャル」という「すかしゅギャル」の目撃記が目に飛び込んできました。1992年9月発行の第143号です。当時「すかしゅギャル」は、筑波大の「可愛い人、きれいな人」を紹介する名物コーナーでした。ですが、編集部自ら「容姿のみに着目して学生を取り上げること」を問題提起する記事を掲載し、読者と兵に在り方を考えたそうです。議論を経て

編集・発行

■筑波大学新聞編集委員会
委員長 土井隆義(人文社会学系・教授) 社会工学系 教授 関瑞穂(学生部長) 委員 逸村裕(図書館情報メディア系・教授) 図書館情報学、清水論(体育系・教授) スポーツ社会学、菅谷純子(生命環境系・教授) 果樹園芸学

■筑波大学新聞編集部
編集代表 鴨志田公男(筑波大学・教授) サイエンスコミュニケーション
編集長 大和祐菜(障害科学類3年) 副編集長 北川瑠菜(比較文化学類3年) ほか編集部員23人

次号は

1月31日(月)

発行予定です

発行所 筑波大学
印刷 ヒラマ写真製版